

動物園新聞



小学3年生
栗林奈子

がまた「せ熊本」未来動物園



11月12日、熊本地震で被災した熊本市動物園の未来について考える「こども会議」が開かれた。じゅう医さんの話とモルモットとのふれあいと悲公開エリアの見学をした。

動物は、すこしやく、幸せにくらし
お客さんは、楽しく、おいしい動物園

しんさい後の動物園

非公開エリアのもうじゅう舎では、雪ひょうのおりがこわれていた。中には、道路に穴があいていたりしている所もあった。チンパンジー舎を見学しているときにボスガールが上の強化ガラスの上でダンスをしていた。そのチンパンジーは、しん災後は、上のあみにしがみついたまま動かないという事もあったという。そんな中、私が

考えた未来の動物園は、「世界旅行をしたような動物園」だ。そのため、6つのエリアに分け、その植物などを植えて動物の住みやすいかんきょうにすること。6つのエリアのまん中にレストランを作り、好きなエリアで料理が食べられるのだ。この会議を通して、動物園が楽しく、動物が幸せにくらせる場所になったらいいと心から思った。

私の考える未来の動物園は

世界へ行きをした気分になれる動物園

そのために次のアイデアを提案します

1. 世界を6つのエリアに分けて

それぞれのエリアの重カ物が住みやすいかんきょう(オーストラリアだったら
そのきせつにある)がある
そのエリアでとれた食べ物をつかって「よういなど」をつくるレストランなど
があるとお客様もたのしいと思います。



名前

栗林 奈子